

Request & Concept

この計画は3年前の冬、東京の下町墨田区の密集地に計画がスタートした。近隣は3階建から5階建の中高層の建築物が建ち並んでおり、低層階の光や風は絶望的なものであった。また計画地は海拔2mと極めて低い土地となっており、対応を迫られる。

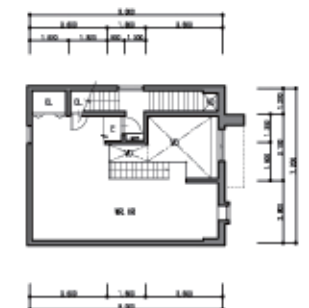
当初はクライアントの住宅のみの計画であったが、3.11を期に一変する事となる。まず構造を強固なものとする事と、海拔が低い地域への対策、またライフライン（ガス・電気・水道）はすべて入れる事、ランニングコストのかからない住宅等の要望が課せられた。一つの住宅で可能な限りすべての生活（行動）を済ませる事も大きな要望であった。

クライアントはデザイナーで近くに事務所を借りていたが、1F2Fを事務所にする事を提案する。これには、方が一の高波への解決策とさらには、住居を上階に計画することによる「採光」「通風」の確保の意味合いが強い。また、廻りの住環境からの子供が自由に駆け回るスペースが必要とされた。最上階はこの家の庭と設定し、将来的に野菜を育てられる仕様としている。また、住空間と自然界には直角な物は無い事から曲線的空間にて計画した。

インテリアも当然大きな役割を果たしている。まず「色」を多く採用する事により、常に「光」を感じる事ができる。光の無い空間では色は存在しない。3.11以降、停電が続く中、光への欲望は人間の渴望へと変化した。暗闇の中でも少しの光で希望を見出す事が可能となる、そんな空間を提案している。

「千歳の住宅」は現代版高床式住居であり、災害や環境と闘う住宅である。

# 千歳の住宅 : A311



Plot Plan

Site Area 100.25 m<sup>2</sup> (61.83)  
 Total Floor Area 286.41 m<sup>2</sup> (176.73)  
 1F Floor Area 64.64 m<sup>2</sup> (39.73)  
 2F Floor Area 53.41 m<sup>2</sup> (32.93)  
 3F Floor Area 64.80 m<sup>2</sup> (40.03)  
 4F Floor Area 64.97 m<sup>2</sup> (40.13)  
 5F Floor Area 38.79 m<sup>2</sup> (23.93)

Total cost 9,500 万円

1F Floor Plan 1/200

Element

床 / 黒マルチ合ボナ仕上げ  
 壁・天井 / 塗装仕上げ・一部コンクリート打放し

2F Floor Plan 1/200

床 / カーペット貼 (シンコール)  
 壁・天井 / 塗装仕上げ・一部コンクリート打放し

3F Floor Plan 1/200

床 / フローリング・一部モザイクタイル (名古屋モザイク)  
 壁・天井 / 塗装仕上げ・一部コンクリート打放し

4F Floor Plan 1/200

床 / フローリング・一部モザイクタイル (名古屋モザイク)  
 壁・天井 / 塗装仕上げ・一部コンクリート打放し

5F Floor Plan 1/200

床 / Pタイル (美里)・一部モザイクタイル (名古屋モザイク)  
 壁・天井 / 塗装仕上げ・一部コンクリート打放し

